

臨床検査部
からだの状態を
「見える化」

お薬の話
第3回お薬手帳

新型コロナウイルス 院内感染の予防にご協力ください

マスク着用、手指消毒を
守ってください。

新型コロナウイルス感染症が急激に拡大しており、茨城県でも8月末までまん延防止等重点措置と緊急事態宣言が発令されました。ワクチンを接種していてもこれまで通りにマスク着用と手指消毒（手洗い）など感染予防策を続けることが大切です。院内感染が発生してしまうと当院の診療や近隣の医療体制に大きな影響を及ぼしますので、外来や入院の患者さんの安全な治療を維持するために院内の感染予防にご協力をお願い致します。



原則、面会禁止です。
荷物の受け渡しも病棟の
指示に従ってください。

面会は、病状説明時や重症患者さんなど医師が必要と認める場合以外は原則禁止とさせていただきます。面会をご希望される場合は、病棟スタッフに伝えていただき、医師の許可を得てください。

また、荷物を直接受け渡しすることも禁止させて頂いています。病棟の指示に従って行って頂くようお願い致します。

お薬の話

第3回

お薬手帳

薬剤師 菊地 清明

皆さんは病院等で受診する際に何を持っていきますか。保険証、診療券、お財布、お薬手帳等色々あると思います。今回はそのお薬手帳について簡単に解説します。



● お薬手帳とは

お薬手帳とは「いつ、どこで、どんな薬を処方してもらったかを記録しておく手帳」のことです。医療機関や薬局に行った際に、患者さんが飲んでいる薬の情報や体に合わなかった薬について記録します。

● お薬手帳の利用方法

▼医療機関に受診あるいは薬局に行った際は医師や薬剤師に手帳を見せて下さい。

▼薬局で市販されているお薬を買った際も手帳に記録して下さい。

▼医療機関で薬の情報用紙を渡された場合は、それを貼って記録して下さい。（当院では処方薬の簡潔な情報を「お薬手帳シール」として患者さんにお渡ししております。）

以上の事を行うことで、「飲み合わせの悪い薬や薬の重複」を避けることができます。



Q かかりつけ病院でもらっている同じ薬しか飲まないのですが、お薬手帳は必要ですか？

A はい、必要です。同じ薬を継続している場合でも、現在飲んでる薬の情報がひと目でわかるようにすることが大切です。薬の名前や量、処方日、日数などの情報を記録しておけば、他の医療機関を受診する時や薬局で一般用医薬品を購入する時などに「いつもの薬と一緒に使っても良いか」をチェックしてもらえます。

Q 病院ごとにお薬手帳を何冊も持っているのですが、良いですか？

A お薬手帳は、「1人に1冊」と考えてください。各病院・薬局ごとに手帳を持ってしまうと、他の医療機関で処方されている薬との飲み合わせや重複している薬のチェックができなくなってしまうかもしれません。もしお手持ちに何冊もあったら、1冊にまとめましょう。

Q 飲んでる薬の情報は覚えていますが、それでもお薬手帳は必要ですか？

A はい、必要です。例えば災害の時や事故などで意識を失った時、お薬手帳が患者さんに代わって飲んでる薬を教えてください。過去に発生した東日本大震災や阪神・淡路大震災でも、お薬手帳が大変役立ちましたので持っておきましょう。

からだの状態を「見える化」/ 臨床検査部のご紹介



1日300人前後採血しています



採血・採尿の受付窓口

採血室



- ・様々な検査に必要な採血を行っています。
- ・採血時の患者誤認防止対策を実施しています。
- ・尿や便、喀痰などの検体を受付します。



検査データを確認しています



検体を分析器にセットしています

生化学、免疫学的検査



- ・血液や尿などの体液を化学的に分析します。
- ・健康状態や病気の度合い、病気の場所を推定する検査を行っています。
- ・多くの検査機器を同時に使い、多量の検査データを正確に素早く提出します。



血液の細胞に異常がないか顕微鏡で調べます



血液をスライドガラスに塗抹しています

血液検査



- ・血液の成分（赤血球・白血球・血小板）や止血機能などの検査を行っています。
- ・貧血や白血病、感染症などの診断に必要な検査です。



喀痰を培地に塗抹しています



コロナPCR検査の様子

細菌検査



- ・血液・喀痰・便・膿などから病気を引き起こしている菌と、その菌に効果のある抗菌薬を見つけます。
- ・コロナPCR検査を行っています。

検査は、健康状態を調べ、ひそんでいる病気を見つけるために行われます。また、病気を治療した結果を判断する上でも欠かせません。臨床検査部は、からだの状態を数字や画像で「見える化」し、安全で質の高い医療の実践に努めています。

病理検査



- ・ 体から摘出された細胞、臓器や組織を顕微鏡で調べ悪性のものかを診断します。



顕微鏡で観察する組織を1000分の2ミリメートルの厚さにスライスしています



診断につながる細胞を染めています

生理検査



- ・ 心電図、心臓超音波、呼吸機能検査、脳波検査を担当し、心臓、肺、脳の機能に異常がないかどうかを調べます。



心臓超音波検査の様子



ABI(動脈硬化の検査)の様子

輸血検査



- ・ 患者さんに安全な血液を供給しています。
- ・ 血液型検査や抗体スクリーニング（患者さんの血液中に輸血副作用の元となる物質が含まれるかを調べる検査）、交差適合試験（患者さんの血液と輸血する血液を混ぜ、患者さんに輸血できる血液かを調べる検査）を行っています。



交差適合試験の様子



分析器に血液型検査に必要な試薬をセットしています

一般検査



- ・ 尿・便・髄液・腹水・胸水・関節液の検査をします。
- ・ 尿検査では、腎臓、尿路、膀胱の健康状態を調べます。
- ・ 便検査では、胃、腸などの消化器から出血の有無、及び寄生虫の有無を調べます。



患者さんから提出された尿をスピッツに分けています



尿の成分に異常がないか顕微鏡で調べています



連携医のご紹介

小倉外科内科

診療科目 内科 消化器科 外科

診療時間

午前	月・火・水・金・土	8:30~12:00
午後	月・火・水・金	13:30~18:00
	土	13:30~17:00

休診日 木曜日・日曜日・祝日

連絡先 TEL: 04-7182-0165

FAX: 04-7182-0166

〒270-1176 千葉県我孫子市柴崎台
3-19-22

医師

岩部 弘治

医学博士

我孫子医師会会長

日本内科学会認定内科医

日本医師会認定産業医

岩部 千佳

医学博士

日本内科学会認定内科医

日本消化器内視鏡学会専門医

日本医師会認定産業医

当院は我孫子市内、JR常磐線天王台駅北口にある診療所で、地域の皆様のかかりつけ医として、アットホームな雰囲気です。丁寧で的確な診療を心掛けています。通常の診療とともに各種健診、人間ドック、超音波検査（頸部・乳腺・腹部）、上・下部内視鏡検査、予防接種、リハビリテーション、交通事故・労災での診療、医師による往診も行っておりますので、ご希望でしたらあらかじめ診療所にご連絡ください。

地域医療連携でJAとりで総合医療センターには検査や診療で大変お世話になっております。いつも親切丁寧な対応をしていただき深謝いたします。今後どうぞよろしくお願いいたします。



我が家のワンちゃんを紹介します。
犬種は、スタンダードプードルで、皆さんがよくご存じのトイプードルよりも、もっと大きなワンちゃんです。
お兄ちゃんのウエルは1歳になったばかりですが、体重はすでに30kgを超えています！
弟のアリーは6か月の赤ちゃん犬ですが、体重はすでに18kg！見た目は成犬に間違われるほどの大きさです。
こんな大きくてかわいい2匹に、私はいつも癒されています。新棟4階病棟 師長 松村 淳子

病院のうごき

「採血・採尿受付機」を使用再開

2階の採血・採尿受付窓口の横に設置している「採血・採尿受付機」の使用を再開しました。当面は、窓口の方と受付機の両方で受付します。

「採血・採尿受付機」でご不明な点がありましたら窓口にお尋ねください。



産婦人科外来、待ち時間短縮のため

産婦人科外来では患者さんの待ち時間を短縮する対策として、問診票を予め記載してから外来にお持ちいただくことをお願いしています。できるだけ当院ホームページのトップページに掲載されている産婦人科の問診票（PDF）をダウンロードし記載してから受診して頂くようお願い致します。

なお産婦人科外来は予約制ですので、受診時は予約センターにお電話して頂くようお願い致します。

予約センター TEL 0297-72-0015